

## 「臨床工学科 業界研究会」を初開催！

4月25日(金)に、東広島キャンパスにおいて、臨床工学科4年次生、3年次生を対象に学生が就職後のイメージを膨らませ、希望に沿った進路選択の後押しをすることを目的に、今年度初めて「臨床工学科 業界研究会」を開催しました。

臨床工学科業界研究会には、国立病院機構、大学病院、公的病院、民間病院、検査センターや企業で、臨床検査技師や臨床工学技士として第一線で活躍されている方々をお招きし講演いただきました。

当日は、講演を担当いただいた先生方から、それぞれの病院や企業の特徴とともに、社会で求められる能力や人材、将来の進路をいかにして決めるべきか、医療専門職として働く際に必要な心構えなどについて学生に語っていただきました。

学生からは、「とても有意義な研究会だった」、「多くの話をお伺いでき大変勉強になった」、「進路についてよりイメージが明確になった」などの感想があり、これから始まる就職活動や国家試験に向けての勉強の意欲がより一層高まっていることが窺えました。

今回のイベントに参加した臨床工学科(臨床工学専攻・臨床検査学専攻)の学生のうち、臨床検査学専攻の4年次生は第1期生となります。

臨床工学専攻の学生も含め、今回のイベントが学生たちの進路選択の一助となればと思っています。



講演会終了後の質疑応答

## 看護学部4年次生対象『実習病院対象学内病院説明会』を開催！



5月8日(木)、呉キャンパスにおいて看護学部4年次生を対象とした『実習病院対象学内病院説明会』を開催しました。本学の看護学部生が日頃、実習でお世話になっている地元広島県の病院を中心に26病院にご参加いただきました。

看護学部生の就職活動がいよいよ本格化する中、参加学生はブース訪問の際、病院の方々の説明をメモを取りながら真剣なまなざしで聴いていました。また、今回お越しいただいた病院の方々の中には、本学看護学部の卒業生もいらっしゃり、後輩の就職相談に親身になってアドバイスをいただきました。参加学生たちは「実習だけでは分からないことを詳しく知ることができ、就職先の視野を広げることができた。」「先輩の話を通じて直接聞くことができたので、今後の就職活動の参考になった。」「数病院の説明を聴くことで、他病院と比較することができたので今後の進路選択に活かしたい。」と感想を述べていました。この催しにより学生達は進路について真剣に考える良い機会となりました。

## 心理科学部の学生が広島ホームテレビを企業訪問！

6月6日(金)に広島ホームテレビ本社(広島市中区)をコミュニケーションの現場視察の一環として企業訪問しました。心理科学部コミュニケーション心理学科・臨床心理学科の学生28名と教員4名が参加しました。

現役アナウンサーとのセミナーでは、報道する内容を取材することの大切さについて、看板番組「地球派宣言」制作スタッフとのセミナーではテレビという媒体を視聴者との相互コミュニケーションツールとして捉える番組づくりのコンセプトの大切さについて、丁寧に説明していただきました。また、学生と説明するスタッフの間で活発な質疑応答が行われました。さらに、情報番組「Jステーション」の生放送番組収録中のスタジオ内にも招待していただきました。学生たちは、伝えるプロとしての仕事に対する真摯な姿勢を目の当たりにする機会に恵まれ、改めてコミュニケーションの奥深さを実感するとともに、感激のうちに訪問を終えることができました。



## 「リハビリテーション常翔会」を開催！

6月29日(日)、リハビリテーション学科(旧:理学療法学科、総合リハビリテーション学科)の卒業生による講習会「リハビリテーション常翔会」が広島キャンパスにて開催されました。卒業生の一期生から五期生40名と在学学生6名が参加し、アドバイザーとしてリハビリテーション学科の木藤伸宏准教授が招かれました。



午前の部は、卒業生による発表を行い、日常業務で遭遇した症例のうち3例が報告されました。苦労した点や解決に至った道筋などが紹介され、お互いに有意義な意見交換の場となりました。

午後の部は、「疼痛に苦しむ患者に対する問題解決法クリニカル・リーズニングの技法を用いて」と称し、グループワーク形式での勉強会が行われました。卒業生が症例を提示し、それぞれのグループ内では症例に対する議論や意見交換が行われました。また、それらの議論に混じって卒業生が学生にもわかりやすく説明している場面も多々みられ、学生にとっても現役の理学療法士から臨床の話をも具体的に聞ける貴重な場となりました。

講習会終了後は、懇親会が開催され、昼間のディスカッションの続きや、自分たちの将来について大いに語り合いました。今後もより多くの卒業生や在学学生が交流し、広島国際大学リハビリテーション学科の卒業生による実力集団が形成されることを願っています。